

海外安全対策情報第1四半期

1 社会・治安情勢及び一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 1月7日、パリの仏週刊紙シャルリ・エブド社を襲撃したテロ実行犯との関係が疑われるフランス人が、同月1日にブルガリア南東部のトルコ国境において、自身の子供の連れ去り容疑で逮捕されていたことが同月中旬に判明した。

(2) 邦人が被害者となる事件が、下記のとおり3件発生した。

ア 住居侵入未遂

1月6日夜、被害者男性がソフィア市内の自宅アパートにおいて就寝中、2階のベランダのドアをバール様のものでこじ開けられそうになった。

イ 窃盗（忍込み）

1月25日夜、被害者女性がルセ市内の自宅アパートにおいて就寝中、アパート内から鍵8個を盗まれた。

ウ 窃盗（スリ）

2月11日頃、被害者女性（旅行者）がソフィア市内において買物中、上着ポケット内に入れていた財布（現金、クレジットカード等在中）を盗まれた。

2 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件は発生していない。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の事件は認知していない。

4 日本企業の安全に関する諸問題

対日感情は基本的に良好であり、特段の変化は見られない。

以上